



b-ex SDGs Communication Book 2023



トップメッセージ	_____	2
SDGs 宣言と4つのbe	_____	3
マテリアリティ(重要課題)と成果目標	_____	4
これまでのSDGsアクション	_____	5
マテリアリティ(重要課題)へのアクション	_____	7
今後のSDGsアクション	_____	15
SDGs 成果目標一覧	_____	18

トップメッセージ

株式会社b-exは製品を通して、お客様に新しい美の体験をお届けしてまいりました。

現在、世界は気候変動、エネルギー資源の減少、貧困、ジェンダー不平等などさまざまな社会課題を抱えています。

このような環境下においては、当社のミッションである「人生に、新しい美の体験を。」を持続的にお客様にお届けすることができなくなる恐れがあります。私たちはこの状況に強い危機感を抱き、これらの社会課題に対して、正面から向き合い、自社の取り組みを通して、解決に向けたチャレンジをしてまいりたいと固く決意しました。

SDGsを経営の柱に掲げ、持続可能な社会の実現に向けて、貢献すべく邁進してまいります。

今後とも、株式会社b-exにどうぞご期待ください。



代表取締役社長 福井 敏浩

SDGs宣言と4つのbe

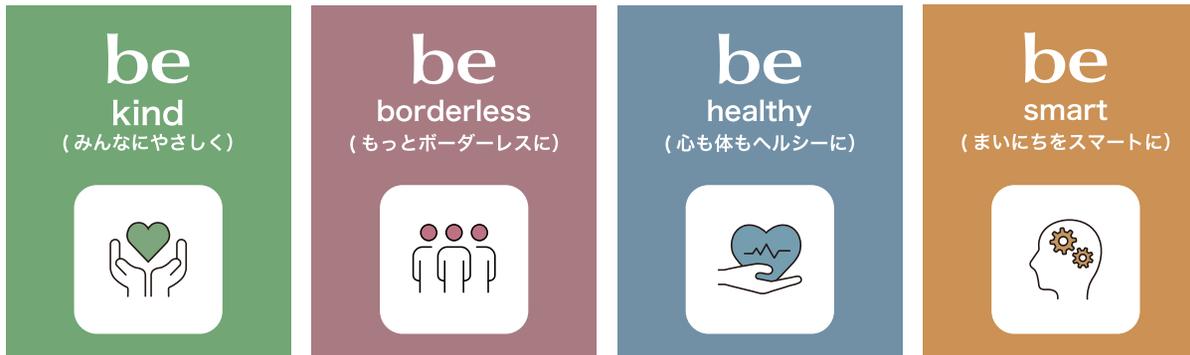
b-exでは2022年1月にSDGs宣言と共に、「b-exが目指す未来」に向かって大切にしたい事を4つのbe（なりたい理想像・be=美）で表現し、その実現に向けてマテリアリティと成果目標を発表しました。

b-ex SDGs宣言

私たちは、ミッションである
「人生に、新しい美の体験を。」のもと、
その実現に向けて世の中に存在する様々な課題と向き合い、
それを多くのパートナーとの事業活動を通じて解決していき、
持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

b-ex がめざす4つのbe

「b-exが目指す未来」に向かって、大切にしたい事を4つのbe（なりたい理想像・be=美）で表現しました。



マテリアリティ(重要課題)と成果目標

4つのbe(なりたい理想像・be=美)を形にする為、取り組むべき重要課題を12のテーマに纏め、各成果目標を策定しました。

<p>be kind (みんなにやさしく)</p> 	<p>be kind (みんなにやさしく)</p>    <p>環境負荷低減 資源の再利用 水質汚染の防止</p>   <p>働きがい創出 安全な労働環境確保</p>	<p>事業活動による環境負荷低減 [温室効果ガス排出量スコープ1、2] ※1 [営業車 EV化] [年間製品廃棄量]</p> <p>資源の持続可能な利用 [FSC® 認証紙使用率] [リサイクル・バイオマスプラスチック採用率]</p> <p>製品による水質汚染の防止 [生分解性の高い活性剤の採用率]</p> <p>人材育成による働きがい創出 [MBA 企業派遣数] [外部研修受講講座数] [人材育成に関する社員満足度]</p> <p>安全な労働環境の確保・提供 [職場環境に関する従業員満足度] [労働災害の発生件数] [平均残業時間] [有給休暇取得率]</p>
<p>be borderless (もっとボーダーレスに)</p> 	<p>be borderless (もっとボーダーレスに)</p>    <p>誰もが活躍できる職場づくり 女性活躍 誰も取り残さない社会の実現</p>	<p>すべての人が活躍できる職場づくり [育児休業復帰率] [男性育児休業取得率] [役員および管理職の女性の割合]</p> <p>女性が活躍できる美容業界への仕掛けづくり [女性美容師支援活動数]</p> <p>だれも取り残さない平等な社会の実現 [障害者雇用率] [ダイバーシティスコア] ※2</p>
<p>be healthy (心も体もヘルシーに)</p> 	<p>be healthy (心も体もヘルシーに)</p>   <p>心身の健康 グリーンマインドの浸透</p>	<p>こころとからだの健康の実現 [お客様 (エンドユーザー) 満足度] [エンドユーザーを巻き込んだ活動数]</p> <p>グリーンマインドの浸透 [エンドユーザーの SDGs 認知度] [社会貢献活動実施回数] [環境社会検定(エコ検定)®] ※3</p>
<p>be smart (まいにちをスマートに)</p> 	<p>be smart (まいにちをスマートに)</p>   <p>教育機会の提供 パートナースHIP</p>	<p>教育機会の提供による美容業界のサステナビリティ向上 [b-ex palette の登録者] ※4 [将来の成り手作り] [美容免許保有者 (休眠美容師) の活躍の場作り]</p> <p>パートナーとのサステナブル商品開発 [サステナブル基準 (自社定義) を満たした製品開発] [サステナブルメーカーとのパートナーシップ数]</p>

※1 スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/supply_chain.html
※3 環境社会検定(エコ検定)® <https://kentei.tokyo-cci.or.jp/eco/>

※2 ダイバーシティスコア [JobRainbow] <https://jobrainbow.jp/magazine/what-is-diversity-score>
※4 b-ex palette (美容師向け教育動画配信サービス) <https://bexpalette.beautyexperience.com/>

これまでのSDGsアクション

b-ex ではこれまで SDGs の全社研修から社内取組み、SDGs 方針の策定・発表、
その後も目に見える形での SDGs アクションを様々実行しながら、社内外への浸透を図っております。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

2021年4月、SDGs研修にて
SDGsを学ぶ



2021年7月、(株)Drop社ご協力の下、
SDGs推進プロジェクト発足



2021年8月、SDGs広め隊が
社内イントラネットでSDGsの啓蒙



2021年4月、社内アンバサダーチーム
SDGs広め隊が活動スタート

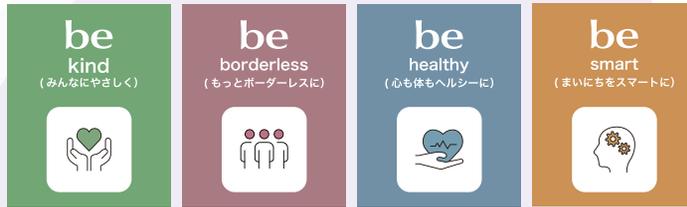


2021年7月、社内自販機や来客用飲料でのPETボトル廃止
(全てアルミ缶や紙ボトル化)



これまでのSDGsアクション

b-ex SDGs宣言



SDGs 方針策定
2022年1月、全社会議で社内発表、
2022年3月、HPで公開



2022年8月、SDGs強化月間
社内イントラネットで
社員スモールアクションリレーを実施

2022年3月、SDGs広め隊が
b-ex マイボトル&マイカトラリーを制作、全社員配布





マテリアリティ(重要課題)へのアクション



事業活動による環境負荷低減

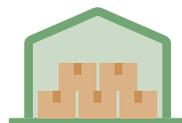
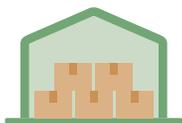
テラサイクル社とのパートナーシップ

「捨てるという概念を捨てる」というコンセプトの下、ごみ問題に取り組むテラサイクル社とパートナーシップ契約を締結し、O'rightの使用済容器の回収を開始しました。2022年11月よりO'rightショップ(有楽町マルイ店)、グリーンパートナーサロン様にて回収ボックスを設置しテスト運用をスタートしております。今後は順次、設置場所を増やし、回収からリサイクルまでの循環を促していく予定です。

事業活動による環境負荷低減

物流のモーダルシフト

SDGs推進の一環として製品の倉庫間転送の手段に鉄道輸送を導入しました。鉄道輸送を利用する事で営業用貨物車に比べCO₂排出が1/10に抑制されます。また気候変動への対応だけでなく、トラックドライバーの人手不足解消、労働時間軽減など、みんなにやさしい物流に貢献していきます。





マテリアリティ(重要課題)へのアクション

Sedex[®] Member

資源の持続可能な利用

Sedex に加入

持続可能なグローバルサプライチェーン構築のため、2022年 Sedex に入会。今後は Sedex の情報プラットフォームを活用し、協力関係にあるサプライヤーの皆様と協働して、エシカルで責任ある持続可能なグローバルサプライチェーンの構築を推進していきます。

資源の持続可能な利用

FSC[®] 認証紙の採用

責任ある森林管理を広める国際的な認証を受けた FSC[®] 認証紙の採用を推進していきます。進行する森林破壊の抑制及び持続可能な森林資源を次世代に残すため、製品に使用する紙器は 100% FSC[®] 認証製品化を進めていきます。

- ・化粧箱 91%
- ・内箱 67%
- ・外箱 38%

※2023年1月31日時点



資源の持続可能な利用

RSPO 加盟

製品の主原料であるパーム油について、持続可能な認証パーム油を使用していくため、2022年に RSPO へ加盟。今後の製品開発においても認証を受けた原料を採用していきます。

資源の持続可能な利用

環境配慮容器の採用

海洋プラスチックゴミ問題などの地球環境に配慮し、資源の持続可能な利用に取り組んでおります。製品に使用しているプラスチック容器をバイオマスペットやリサイクル容器などの環境に配慮した容器へ切り替えを進めていきます。バイオマス/リサイクル PET 採用率 46% ※2023年1月31日時点



責任ある森林管理
のマーク



マテリアリティ(重要課題)へのアクション



3段階目(最高位)

すべての人が活躍できる職場づくり

えるぼし3つ星取得 男性育休取得率の向上

2022年4月に女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定を取得しました。「えるぼし」認定は、女性活躍推進の取り組み実施状況が優良な企業が厚生労働大臣より認定を受けるもので、最高位の3つ星認定を取得しました。

また、男女を問わず育児ができる社会の実現に向けて、テレワーク勤務制度等の導入で働き方の変革にも取り組んでいます。



誰も取り残さない社会の実現

LGBTQ 研修の実施 ダイバーシティスコア導入 (D&I アワード 2022)

SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」の体現に向け、全社員へ(株)アカルク社よりLGBTQ研修を実施。また誰もが自分らしく働ける理想の企業を目指し、自社のダイバーシティ&インクルージョンの評価ができるダイバーシティスコアを算定、D&Iアワード2022に初エントリースタンダード認定を頂きました。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション



グリーンマインド 浸透

ビーチクリーン活動に参加

神奈川県のパシフィック・コスタで毎月行われる「海さくらゴミ拾い」にSDGs 広め隊と有志が集まったメンバーで参加。美容メーカーとしてできることの1つとして、海岸に落ちているプラスチックゴミなどを回収し、海岸の美化活動を行いました。

またサロン様を招待した沖縄へのインセンティブツアーでは、クリーンアップを通じて地域と人が繋がる「プロジェクトマナティ」へ参加。地元の方よりマナティの活動や沖縄のごみ問題について話を聞き、有志の美容師様と社員で、真栄田岬でビーチクリーンを行いました。



グリーンマインド 浸透

アースアワーに協賛

2022年3月26日に開催したEARTH HOURへ協賛しました。EARTH HOUR（アースアワー）は世界中のんびとが同じ日・同じ時刻に消灯することで、地球温暖化防止と環境保全の意志を示す消灯アクションで、EARTH HOUR 2022には世界192の国と地域が参加しました。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション



グリーンマインド 浸透

グリーンプロジェクト始動

世界初のゼロカーボンシャンプー『O'right』の販売開始を機に、2022年3月15日、ヘアサロンからゼロカーボンを目指すための「グリーンプロジェクト」を発足しました。カーボン排出量削減に向けてヘアサロンが取り組むべき24項目の『グリーンスコア』を設定し活動をサポート。2025年までに5,000店舗以上の賛同を目標にプロジェクトを推進しています。



グリーンマインド 浸透

環境社会検定(エコ検定)[®]の社内公募・資格受験

SDGsの達成を目指していく上で社会課題に対する正しい知識の習得が必要になります。そこでb-exでは環境社会検定(エコ検定)[®]を取得推奨資格として、2025年度までに社員取得率50%と目標を設定しました。その結果、1年目で社員取得率58%(社員145人中、取得者84人)と目標を達成できました。

※2022年11月30日時点

環境社会検定(エコ検定)[®]は東京商工会議所の登録商標です。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション

グリーンマインド浸透

ゼロ・ウェイストツアー実施

O'rightのグリーンパートナーサロンと一緒に、リサイクル率80%を超え、ゼロ・ウェイストで有名な徳島県上勝町にあるゼロ・ウェイストセンターで2日間の研修を行いました。1日目はセンターで取り組む13種45分別のゴミの分類からリサイクルを学び、同建物内にあるリユースショップを見学。2日目はサーキュラーエコノミーをテーマに美容室の課題を洗い出し、チーム毎に理想のサロン像を発表。様々なアイデアが飛び交い、未来の循環型美容室の姿が描かれました。この場をきっかけに、パートナーサロン同士の交流も深くなり、充実したツアーになりました。



COP27の「World Climate Summit」に参加

2022年11月にエジプトのシャルム・エル・シェイクで開催された「COP27 (国連気候変動枠組条約第27回締約国会議)」の公式サイドイベント「World Climate Summit」に日本の美容企業として唯一、b-exが参加しました。カーボンニュートラルの実現に向けて世界各国の企業や組織が取り組むさまざまなアクションに触れ、これからの日本の美容業界に求められることを代表取締役社長の福井敏浩がレポートとして発信しました。

(<https://www.b-ex.inc/news/newsrelease/15453/>)





マテリアリティ(重要課題)へのアクション

SDGs small action!

みんなの小さな行動が、世界を良くする。

マイボトルマイボトル

マイボトルマイボトル

目標6 安全な水とトイレを世界中に

現在、世界の **11%** の人が深刻な水問題に直面

日本で最も利用可能な水は山間部に多く、都市部にも利用可能な水は限られています。世界平均の25%程度に比べて、日本は約300年の間に約10%減少しています。

水不足の発生や水質汚染の深刻化により、水不足は深刻化する恐れがあります。持続可能な開発目標(SDGs)達成のためには、水資源の持続可能な利用と水質汚染の防止が不可欠です。

b-ex 重要課題

製品による水質汚染の防止

【具体的な取り組みの取組】

【具体的には】・・・製品原料となる化学品の環境配慮

原料調達先である各社との協力が必要

その他の取組としては、製品のライフサイクル全体を通じて、環境にやさしい製品を開発したNew VOCシステム [環境配慮型製品](#)、[環境配慮型製品](#) などを導入しています。

目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

現在、日本の発電量の約80%は火力発電、約10%は再生可能エネルギー(風力・水力・太陽光)によって供給されています。再生可能エネルギーの割合を増やして、2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする「**カーボンニュートラル**」を目標としています。

再生可能エネルギーは、CO2排出量がゼロです。

すべての人が安心して使えるクリーンエネルギーを普及させ、気候変動対策の一環として取り組んでいます。

b-ex 重要課題

事業活動による環境負荷低減

【具体的な取り組み】

【温室効果ガス削減目標：日本】

2030年度において**4.0%削減**

2050年度までは、温室効果ガス排出を**実質ゼロ**にする

【再生可能エネルギーの現状】

日本の再生可能エネルギー比率は**18%**(2019年度) ※世界基準では日本は約10%

b-ex 再生可能エネルギー推進 >> [再生可能エネルギー推進](#)

グリーンマインド浸透

社員スモールアクションリレー SDGs POP 社内掲示

企業としての取り組みだけでなく、社員一人ひとりが今すぐにでも出来る「スモールアクション」の啓発やSDGsの基礎知識浸透のための活動も推進しています。ポスターの社内掲示や社内報での社員のスモールアクション紹介など、SDGsをもっと身近に、企業カルチャーとして根付かせていく活動を行なっています。



社会貢献活動

NPO法人日本障害者ゴルフ協会への支援

心を動かすスポーツを多くの人に知ってもらいたい、勇気や感動を与えてくれるアスリート達を応援したい。そんな想いから、日本の障害者ゴルフ発展のために活動を行っているNPO法人「日本障害者ゴルフ協会」に20年以上にわたって毎年支援を行なっています。



マテリアリティ(重要課題)へのアクション



美容業界のサステナビリティ向上

b-ex palette (デジタル) による教育機会の提供

美容室や美容師の自由な働き方や学び方に応える教育動画配信サービスが「b-ex palette」です。好きな時間や場所でご利用いただける学習サポートツールとして誕生しました。

基礎知識・技術から、人気美容師によるカット、カラー、パーマ、アレンジやフォトなどの応用技術まで、幅広いテーマの動画をご用意し、すでに5,500人以上の『学び』に貢献しています。



サステナブルな商品開発

サステナブル開発の自社基準 (be-kind) を策定

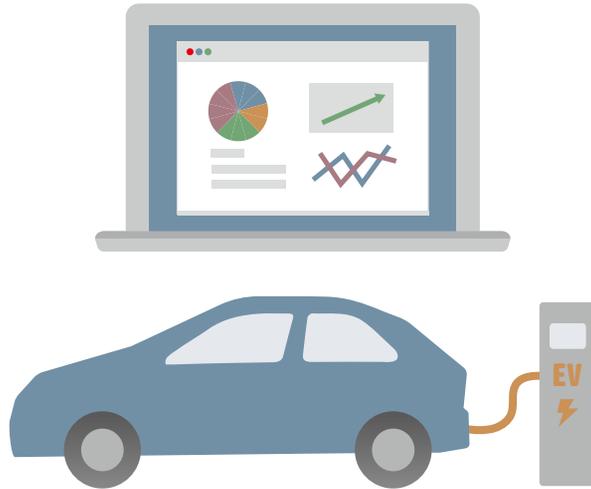
2022年6月30日にサステナブル開発基準作りプロジェクトを立ち上げ、『8つの目標 (be-kind)』を策定しました。

全製品共通の開発基準を設けることで、お客様は安心して全てのb-ex製品を選ぶことができるようになります。

サプライヤーや協力会社にも基準を共有することで、サステナブルな製品づくりの意識を広げていきたいと考えています。

今後のSDGsアクション

b-exでは今後も様々なSDGsアクションを実施していき、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。



事業活動による環境負荷低減

GHG (温室効果ガス) 算出可視化システム 営業車EV化

温室効果ガス削減に向けて、まずは自社事業から排出される温室効果ガスを算定できるシステム導入をしていきます。システム導入後のCO₂削減アクションとしては、営業車のEV化などを検討しています。

※GHG(温室効果ガス)=Greenhouse Gas

※現在も営業車は全てハイブリッド車を使用しています。



事業活動による環境負荷低減

プラスチック使用量の削減 (ヘアカラーキャップ小型化)

持続可能な社会の実現のため、環境負荷低減の目的としてヘアカラーキャップを小型化しプラスチック使用量の削減を推進します。

従来の3.4gから1.58gへと約54%の削減を実現し、チューブタイプのすべてのカラー剤で2023年から順次切り替えを行っていきます。

今後のSDGsアクション

b-exでは今後も様々なSDGsアクションを実施していき、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。



事業活動による環境負荷低減

SBT (中小企業版) 認定の取得

SBT (Science Based Targets) は産業革命前に比べ世界の気温上昇を1.5°Cに抑えることを目指す温室効果ガス削減目標のことです。b-exは「2030年までに事業活動から直接排出される温室効果ガス(スコープ1.2)実質ゼロ」を目標にしており、その実現に向けて国際的なイニシアティブに参加することを検討しています。



誰も取り残さない社会の実現

LGBTQ相談窓口設置と社内制度構築

昨年度のLGBTQ全社研修にて社内から一番要望が高かった相談窓口設置を進めていきます。併せて、誰もが働きやすい職場環境作りを目指して、就業規則アップデートや男性社員の育児休業取得も推進していきます。

今後のSDGsアクション

b-exでは今後も様々なSDGsアクションを実施していき、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。



美容業界のサステナビリティ向上

美容師職業体験会の開催

「美容師の仕事をもっと知ってほしい!」という想いから、社員のお子様に対し、美容師職業体験会を企画予定です。パパやママにヘアカラーの塗布を試してみたり、シャンプー体験をしてみたり、楽しい時間を過ごす事で美容師という職業の魅力を感じてもらいたいと思っています。

SDGs 成果目標一覽

カテゴリー	分類	取り組みテーマ	重要課題	成果指標	目標数値	期間
be kind (みんなにやさしく)	環境	事業活動による環境負荷低減	サプライチェーン全体におけるCO ₂ 削減	温室効果ガス排出量 スコープ1.2	実質0を目指す	FY30
			事業活動によるCO ₂ 排出抑制	営業車EV化	営業車EV率100%	FY30
			廃棄物削減によるCO ₂ 排出抑制	年間製品廃棄量	実質0を目指す	FY30
		資源の持続可能な利用	包装・紙によるCO ₂ 排出	FSC*認証紙使用率	100%を目指す	FY30
			容器・プラごみによるCO ₂ 排出	リサイクル・バイオマスプラスチック採用率	採用率100%を目指す	FY30
			製品による水質汚染の防止	製品使用による水質汚染	生分解性の高い活性剤の採用率	FY24以降のヘアケア新製品で採用率100%
	人材育成	人材育成による働きがい創出	人材育成による働きがい創出	MBA企業派遣数	毎年1名派遣 ※現在累計11名MBA取得	左記
				外部研修受講講座数	FY22に制度設計 →完了	左記
				人材育成に関する社員満足度	上記制度構築を終え次第、調査実施をする (FY24以降継続)	左記
	ガバナンス	安全な労働環境の確保・提供	法令遵守・徹底による安全な労働環境の確保・提供	職場環境に関する従業員満足度	FY23にwell-being指標を導入予定 →今後の目標はその後検討	左記
				労働災害の発生件数	0件	継続
				平均残業時間	現状維持 (45時間未満を維持)	継続
有給休暇取得率				70% (厚労省目標)	FY30	
be borderless (もっとボーダレスに)	ジェンダー	すべての人が活躍できる職場づくり	女性活躍支援による社内のジェンダー平等	育児休業復帰率 (%)	現状維持 (100%)	継続
			性別による賃金格差	役員および管理職の女性の割合 (%)	20% (改正女性活躍推進法の行動計画)	FY25
		女性が活躍できる美容業界への仕掛けづくり	女性活躍支援による美容業界のジェンダー平等	女性美容師支援活動数	①FY25 女性アンバサダー在籍数 150名 ②女性美容師の起用回数 年10回以上継続	左記
		だれも取り残さない平等な社会の実現	マイノリティへの差別の防止	障害者雇用率 (%)	2.7%以上	FY27
				ダイバーシティスコア	60点以上 (アドバンス認定)	FY25
be healthy (心も体もヘルシーに)	心と体の健康	こころとからだの健康の実現	製品とサービスを通じた心と体の健康	お客様 (エンドユーザー) 満足度	好意的認知度60%	FY25
			製品を通じた自己肯定感の向上	エンドユーザーを巻き込んだ活動数	D2Cイベント (リアル・オンライン) 年20回以上目指す	FY25
		グリーンマインド浸透	グリーン革命による消費者のサステナブル意識の向上	エンドユーザーのSDGs認知度	①FY25 グリーンパートナーサロン 目標100店舗 ②SDGsに関する情報発信数 年8回以上	左記
				社会貢献活動実施回数	社会貢献活動 年2回参加 (ゴミ拾い、ビーチクリーン等)	左記
be smart (まいにちをスマートに)	外部への教育	美容業界のサステナビリティ向上	環境社会検定 (エコ検定)* 取得率	社内取得率70%	FY25	
			デジタル化による教育機会提供	b-ex paletteの登録者	10,000人	FY25
	パートナーシップ	パートナーとのサステナブル商品開発	美容業界の雇用促進	将来の成り手作り 美容免許保有者 (休眠美容師) の活躍の場作り	①美容専門学校生への学習活動 年5回以上 ②美容師職業体験会の開催 FY23に1回開催 →今後の目標はその後検討 ③美容師免許取得者の社員積極登用の継続 (インストラクター他)	左記
			サステナブル商品の開発	サステナブル基準 (自社定義) を満たした製品開発	FY24以降の新製品で採用率100%	左記
			協業による環境配慮と利便性の両立	サステナブルメーカーとのパートナーシップ数	共同開発3件	FY30



株式会社 b-ex
東京都世田谷区用賀4-10-5
お問合せ窓口 03(6757)7767

b-ex SDGs方針
詳しくはコチラ!



b-ex SDGs

検索

<https://www.b-ex.inc/company/sdgs/>

